

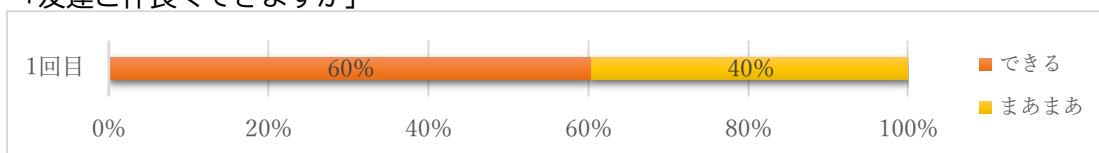


## 「第1回 生活アンケート」の結果について（一部抜粋）

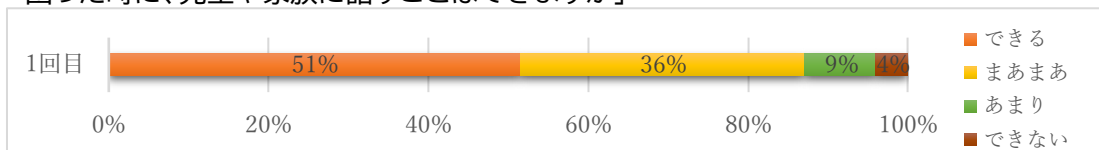
当校では、児童生徒がお互いに仲間を大切に、安心して学校生活が過ごせるよう「学校いじめ防止プログラム」を作成し、全校で取り組んでいます。今回は、いじめの早期発見を目的とした生活アンケート結果（6月実施）の一部をお伝えします。

### ○小学部

「友達と仲良くできますか」



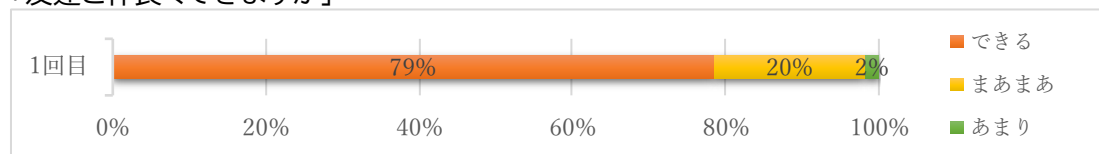
「困った時に、先生や家族に話すことはできますか」



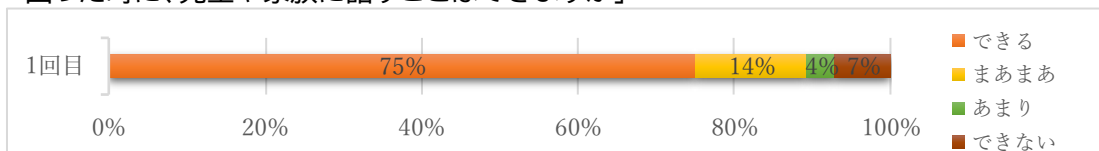
「友達と仲良くできますか」「困った時に、先生や家族に話すことができますか」について、「できる」と回答した児童は、半数から6割程度となりました。今回の結果は、学年が進級し新しい環境に慣れていなかったり、新しい友達や先生との信頼関係をこれから築いていく時期であったりしたことなどが影響していると考えられますが、今後も友達や教師との信頼関係づくりに重点を置き、児童一人一人の困り感に適切に対応できるようにきめ細かな支援を続けていきたいと思えます。

### ○中学部

「友達と仲良くできますか」



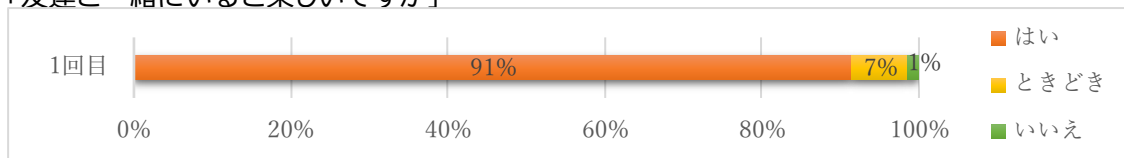
「困った時に、先生や家族に話すことはできますか」



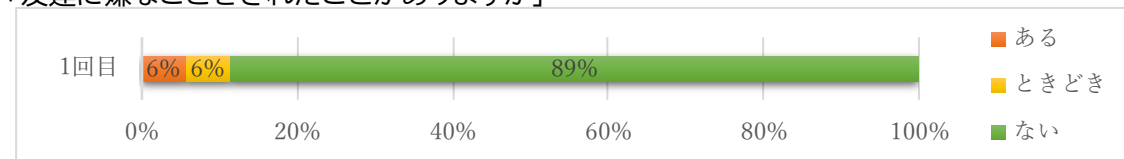
「友達と仲良くできますか」「困った時に、先生や家族に話すことができますか」について、7～8割程度の生徒が「できる」と回答がありました。中学部の段階となり、仲間と理解し合えたり、困った時に自分の思いを相手に伝えたりすることができるようになってきていることが伺えます。一方で、思春期という時期を迎え、心が不安定となり困り感を抱えた生徒がいることも確かであるため、今後も、教師が生徒の様子をしっかりと観察しつつ、一人一人丁寧な支援を心掛けていきたいと思えます。

## ○高等部

「友達と一緒にいると楽しいですか」



「友達に嫌なことをされたことがありますか」

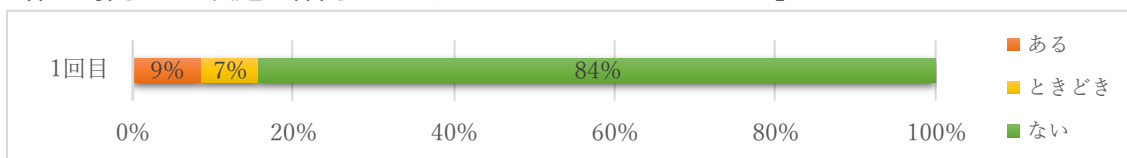


### ●具体的ないじめの態様（「学校いじめ防止基本方針」より）

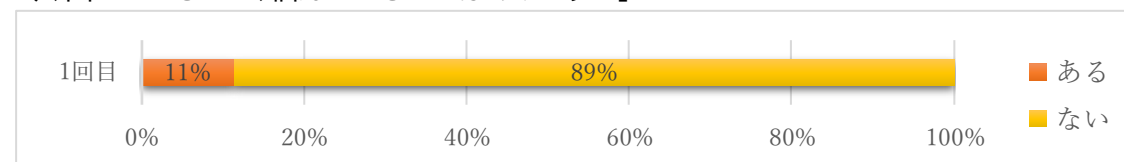
- ・冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。 4件
- ・その他（覚えていない等） 3件

高等部では、「友達と一緒にいると楽しいですか」に対して、「はい」と回答した生徒が9割を超えました。ほとんどの生徒は、良い仲間関係が築かれていることが伺えますが、「友達から嫌なことをされたことがありますか」では、一部の生徒で「ある」「ときどき」との回答もありました。嫌なことをされたと訴えがあった事案については、すぐに関係生徒から事情を丁寧に聴き取り、職員間で情報共有を行い指導が終わっていますが、現在も、その後の様子を慎重に見守っています。例年、当校の場合、入学当初の1年生を中心に対人関係によるトラブルが多く、学年が上がるにつれて減少していく傾向も見られ、今後も粘り強く指導を行っていきたいと思います。

「休み時間など、友達の仲間に入れずさみしいことがありますか」



「今、困っていること、悩んでいることはありますか」



### ●主な内容

- ・自分の性格のこと 2件
- ・仲間や対人関係のこと 2件
- ・学校の勉強や生活のこと 2件
- ・家族のこと 2件

生徒によっては、自分自身の病気のことや性格のこと、学校や家庭でのこと等さまざまな悩みを抱えています。定期的に個別相談を実施し、生徒の思いを十分に聴きとり、解決策について考えていけるよう支援を継続していきたいと思います。

◎「学校いじめ防止プログラム」の詳しい内容につきまして、右のQRコードから当校のホームページの「学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。

